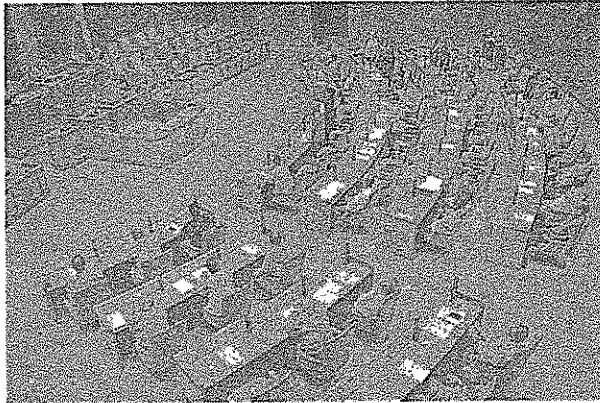


# 戦争法案 廃案求め意見書

## 沖縄県議会が可決

9/1 志旗



戦争法案の廃案を求める意見書を可決した沖縄県議会＝31日、那覇市

### 県民は平和求めている

沖縄県議会（定数48、欠員1）は31日、臨時議会を開き、日本共産党など与党系派が提案した「日本国憲法を守り『安全保障関連法案』の廃案を求める意見書」を、賛成23人、反対17人、退席6人の賛成多数で可決しました。

意見書は、同法案が

成立すれば、米軍基地の約74%が集中する沖縄が戦争の出撃拠点となるだけでなく、戦争

に巻き込まれるとの不安が県民に広まっていると強調。「住民の4人に1人が犠牲となった奇烈な地上戦を体験した沖縄県民は、平和な社会を切実に求めている

おり、再び戦争に加担するための法案は断じて許されるものではない」としています。日本共産党の玉城フ子県議が、与党系派を代表して賛成討論

を行いました。玉城氏は、うるま市沖で起きた米陸軍特殊作戦ヘリMH60墜落事故（8月12日）で、防衛相直属の陸上自衛隊・中央即応集団所属の特殊作戦

部隊が同乗していたことを指摘。「日米共同の軍事作戦を想定した戦争法案を先取りするものだ」と強く批判し、法案の廃案を訴えました。

自民・公明両党派も同法案の慎重審議を求める意見書を提出しましたが、廃案を求めた意見書が可決されたため、採決に付されませんでした。

### 止めよう！辺野古埋め立て

### 12日に国会包囲行動

9月12日に行われる「止めよう！ 辺野古埋め立て9・12国会包囲行動」（主催は同実行委員会）の記者会見が31日、衆院第2議員会館で開かれました。今回は、同実行委員会と「戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会」が協力団体となり、会見に参加しました。

今回の包囲行動は、政府が沖縄県民の新基地建設反対の意思を真摯（しんし）

#### 総がかり実行委が協力

9月12日に行われる「止めよう！ 辺野古埋め立て9・12国会包囲行動」の記者会見が31日、衆院第2議員会館で開かれました。今回は、同実行委員会と「戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会」が協力団体となり、会見に参加しました。今回の包囲行動は、政府が沖縄県民の新基地建設反対の意思を真摯（しんし）に受け止め、新基地建設を断念することを求めている行動です。今年1月25日に7千人、5月24日に1万5千人が参加し、3回目の取り組みとなります。会見では、ヘリ基地反対協議会の安次富浩共同代表が、9日には県と国の話し合いに伴うボーリング調査中止の1カ月の期限が過ぎることから、早ければ翌週から工事再開の可能性もあり、12日に本土で大きな反

対の意思を示すことが大切だと述べました。

8月30日から島ぐるみ会議を取り組んでいる全国51紙の意見広告運動も紹介され、実行委員会から参加の呼びかけがありました。

総がかり実行委員会からは、福山真劫（戦争をさせない1000人委員会）、高田健（解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会）、岸本啓介（憲法共同センター）の3氏が参加し、連帯と集会成功への決意をそれぞれ発言しました。

包囲行動は午後2時から国会周辺で行われます。